

第5学年 総合的な学習の時間指導案

指導者 福岡市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 主題名 やってみようメール

2. 資料名 「メールの書き方を考えよう」「幸せがやってくるメール？」

3. ねらい

電子メールを書く上で必要な基本マナー・具体的な書き方やチェーンメールの問題点を知り、メールを適切に活用する態度を育てる。

4. 主題について

〈主題について〉

本主題は、メールについての、最低限の基本マナーや知らない相手からのメールにどう対処したらよいかを知り、日常生活の中でメールを適切に使うための知識を身につけることをねらいとしている。

電子メールは手軽にスピーディーにメッセージを届けられる便利なツールであるが、文字が中心であるため、会話のように相手の反応を見ながらコミュニケーションをとることは不可能である。そのため、意味の取り違いによって誤解をまねいたり、相手に不快感を与える乱雑な言葉や、だらだら書いて何を伝えたいのかが分からなくなったりすることもある。

また、メールなどを使った人権侵害や犯罪が起こっている現実もあり、コンピュータや携帯電話の利用が不可欠になっていく情報社会のなかで、メールのマナーを身につけ、豊かな人権感覚を持って、適切に活用するための知識をもち行動しようとする態度を育てることは大変意義深いと考える。

〈子どもの実態〉

本学年の子どもたちは、インターネットを使って、必要な情報の収集や、パソコンソフトを使って積極的に学習を進めている。4月には個人情報を守るという課題で、個人情報とは何か、どうして大切なのかということを知り、ネット上にむやみに自分の情報を載せないという学習を経験している。

5年生43人のアンケートにおいては、パソコンによるメールの利用は0人であるが、携帯電話のメールは26人の子どもたちが利用しているという結果であった。

また、自分専用の携帯電話や家族の携帯電話を使っている子どもは38人、パソコンのインターネットは22人の子どもたちが家庭で使っており、今後、メールを利用する機会も増えていくと考えられる。

〈資料の活用と情報モラル活用の視点〉

本時では、2つの資料を活用する。まず、5人の子どもたちが書いたメールのサンプルを見て、それぞれのメールの問題点を考え、気持ちのいいメールとは何かということを考えるものである。

2つ目はチェーンメールが届いたときに、その後の行動によってどのようなことが起こるかということを知り、チェーンメールの問題点について考えるというものである。この2つは、これから、子どもたちがメールを利用する際に実際に起こり得る事例である。この資料を通して、メールに関わるマナーを身につけ、チェーンメールは絶対に送らないという態度を育てたい。

〈本時指導の考え方〉

本時指導にあたっては、疑似体験を通して、メールについてのマナーや問題点を知り、適切なメールの利用方法を知ることがねらいとする。

そこで、導入では、実際に受信したメールに返信させ、他の通信手段（電話・手紙）とメールを比較しその特性について考えることで学習のめあてを確認する。

展開の場面では、2つのコンテンツを疑似体験させ、メールを書く上で必要な基本マナーや具体的な書き方、およびチェーンメールの問題点について考えさせる。

まとめの場面では、メールのマナーや問題点について振り返り、学習して思ったことなどをメールとして送信させ、学習のまとめとする。

5. 準備 インターネットデジタルコンテンツ、学習プリント

6. 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1. メールとは何かを知り、めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信したメールを読み返信する。 他の通信手段とメールを比較しその特性について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて _____</p> <p>メールの正しい使い方について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> メール利用の経験がない子どもたちにも、メールがどのようなものであるかが分かるようにする。 電話と手紙とメールを比べさせる。
展開	<p>2. デジタルコンテンツ「メールの書き方を考えよう」を使って 疑似体験を行い、メールのマナーや正しい書き方について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5人の子どもたちが書いたサンプルメールを読む。 それぞれのメールの問題点について考える。 一番気持ちよく読むことができるメールをポイントをおさえながら確認する。 自分がもらっていやなメールについて考える。 <p>3. デジタルコンテンツ「幸せがやってくるメール」を使って疑似体験を行い、チェーンメールの問題点について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 教師が送ったメールを読み、チェーンメールについて知る。 コンテンツの「幸せを広めるメール」を読み、自分ならどうするかを考える。 チェーンメールを送ったときと送らなかったときにどうなるかを知る。 チェーンメールの問題点を知り、どうしたらよいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> サンプルメールは児童用 PC に提示する。 送信されたメールを見て問題点をワークシートに記入させる。 児童用 PC に提示する。 これまでの手紙やメールの経験をもとに、もらっていやな内容をワークシートに記入させる。 メールを読んで、どんな気持ちになるかを考えさせる。 受け取った子の気持ちになって、どうするかを理由もふくめて考えさせる。 5人に回すことを前提とすると、2回目は25人、3回目は125人・・・となり、11回目で日本の人口の約半数の数になることや現実問題として交友関係が限られているので、自分のところに大量のメールが送られてくるをおさえる。
まとめ	<p>4. 本時学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習をしたことを振り返り、メールを適切に使うにはどうしたらいいかをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> メールを利用するときは <ul style="list-style-type: none"> メールを受け取る相手の気持ちを考える。 わかりやすい「件名」 内容をわかりやすくまとめる 読みやすく 本人の名前を書く メールを出す前に一度読み返して、言葉の使い方や読みやすさを確かめる。 チェーンメールは、絶対に送らない。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 体験して思ったことや考えたことをメールで送信する。 	<ul style="list-style-type: none"> メールのマナーや書き方について、ワークシートをもとに、まとめる。 メールには相手が存在することを知らせ、基本的な書き方だけでなく、相手の気持ちを考えてメールを書いたり読んだりすることが大切であることをおさえる。

「やってみようメール」
か かた かんが

(1)メールの書き方を考えよう

① 5人のメールを読んで、問題点をかきましょう。

エイオ
ビイコ
シイオ
デイコ
イイオ

②あなたが、もらっていやな気持ちになるメールは、どんなメールですか？

--

しあわ
(2)幸せがやってくるメール？

① メールを見て、あなたならどうしますか？○をつけましょう。

() 送る () 送らない

②あなたが①のように考えたわけを書きましょう。

--